

平成27年度高等学校道徳教育推進協議会

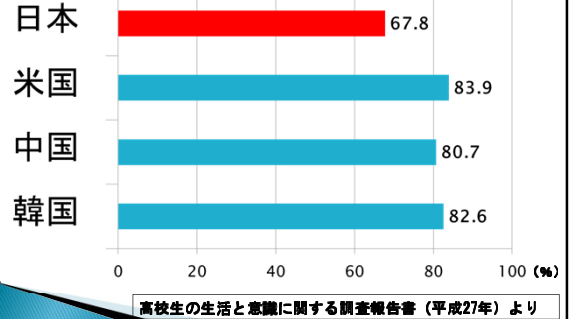
# 全体説明

高等学校における道徳教育の現状と  
今後の方向性

平成27年9月29日(火)  
広島県庁本館6階 講堂

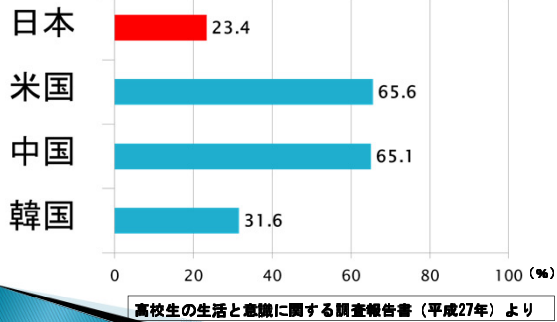
## 自分の希望はいつか叶うと思う

(「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した者の割合)



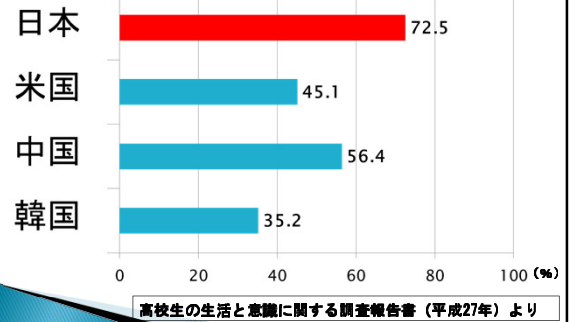
## 私は、勉強が得意な方だ

(「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した者の割合)



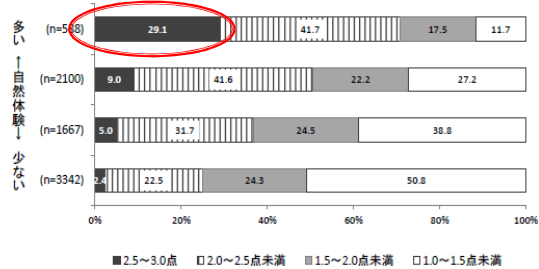
## 自分はダメな人間だと思うことがある

(「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した者の割合)



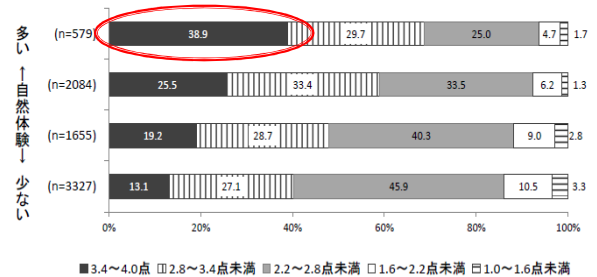
## 自然体験と正義感・思いやりに基づく行動の関係

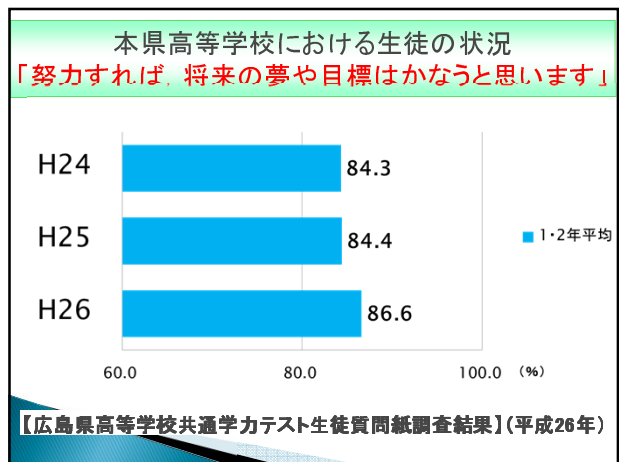
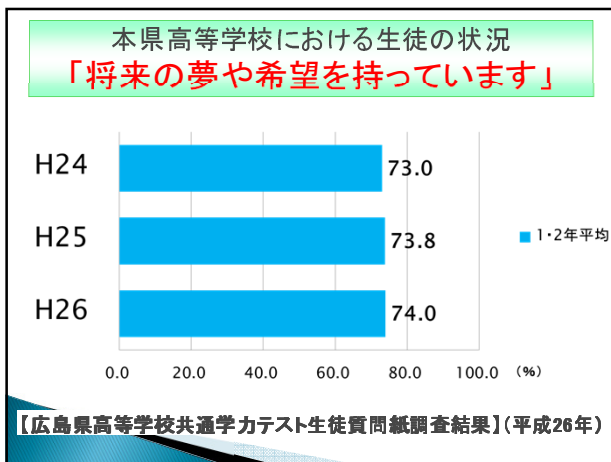
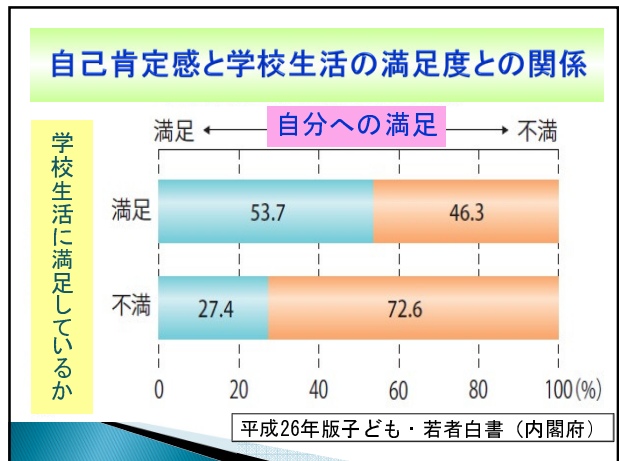
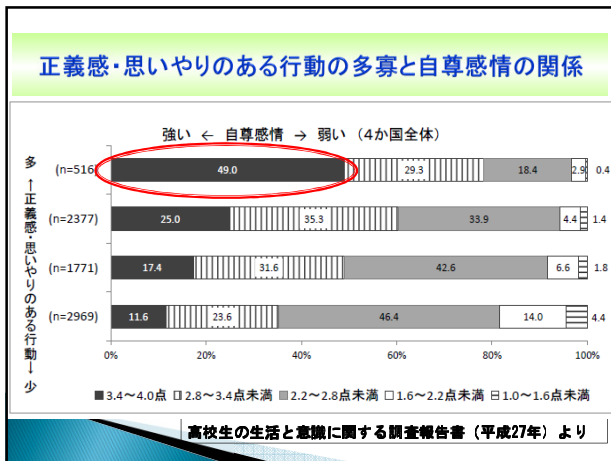
多い ← 正義感・思いやりのある行動 → 少ない (4か国全体)



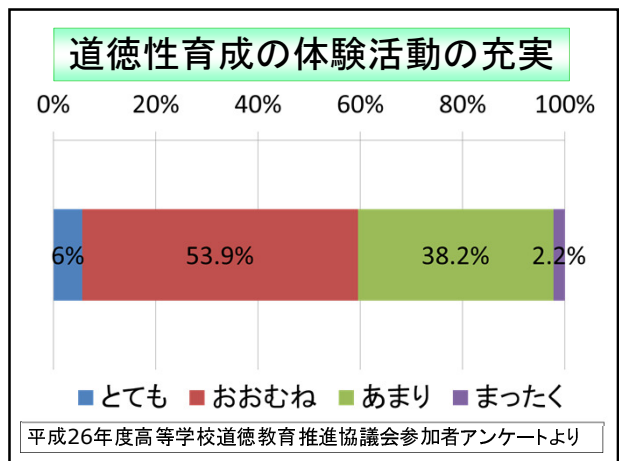
## 自然体験と自尊心の関係

強い ← 自尊心 → 弱い (4か国全体)

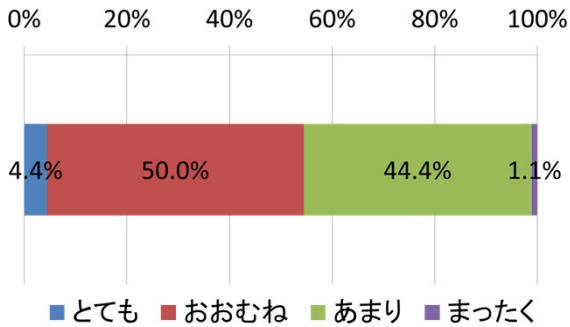




平成16・17年度 「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」	福山明王台高等学校, 松永高等学校 瀬戸田高等学校
平成18・19年度 「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」	可部高等学校
平成19・20年度「高等学校・中学校『人間としての在り方生き方』を考える教育』実践研究事業」	三原東高等学校
平成21・22年度「道徳教育実践研究事業」	三次高等学校
平成23年度 「小・中・高等学校道徳教育実践研究事業」	海田高等学校, 西条農業高等学校 尾道北高等学校, 戸手高等学校
平成24年度 「小・中・高等学校道徳教育実践研究事業」	尾道北高等学校(継続), 大竹高等学校 府中高等学校, 賀茂北高等学校
平成25年度 「小・中・高等学校道徳教育実践研究事業」	大竹高等学校(継続), 府中高等学校(継続) 賀茂北高等学校(継続), 尾道商業高等学校
平成26年度 「道徳教育改善・充実」総合対策事業」	尾道商業高等学校(継続), 河内高等学校 芦島まなび学園高等学校
平成27年度 「道徳教育改善・充実」総合対策事業」	河内高等学校(継続), 千代田高等学校 芦島まなび学園高等学校(継続)

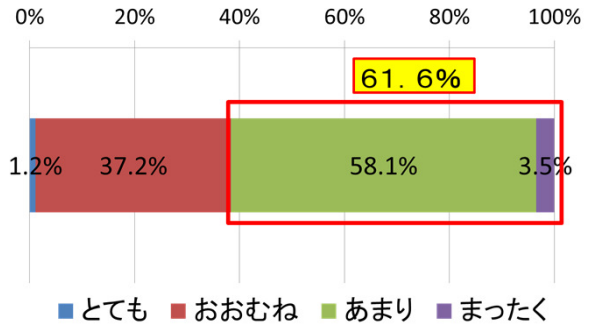


### 道徳性育成の視点での授業展開



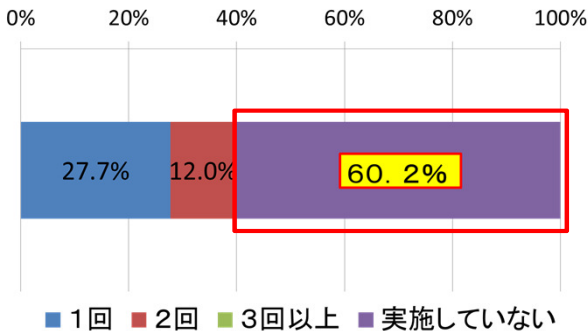
平成26年度高等学校道徳教育推進協議会参加者アンケートより

### 自校の道徳教育の充実



平成26年度高等学校道徳教育推進協議会参加者アンケートより

### 自校の道徳教育の研修回数



平成26年度高等学校道徳教育推進協議会参加者アンケートより

高等学校学習指導要領 2 道徳教育（第1章第1款の2）  
解説 総則編 第3章 第1節 2 道徳教育

(1) 高等学校における道徳教育

ア 高等学校における道徳教育の考え方

「人間としての在り方生き方に関する教育」  
学校の教育活動全体を通じて行う

イ 人間としての在り方生き方に関する教育の展開

ウ 各教科・科目等における人間としての在り方生き方に関する教育の展開  
中核的な指導の場面 公民科の「現代社会」及び「倫理」、  
特別活動（総合的な学習の時間、産業社会と人間）

(2) 道徳教育の目標

(3) 道徳教育を進めるに当たっての配慮事項

(1) 高等学校における道徳教育

ア 高等学校における道徳教育の考え方

『高等学校学習指導要領解説 総則編』（平成21年11月）より

- 道徳教育は、豊かな心を持ち、人間としての在り方生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとする教育活動
- 高等学校においては、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の指導のための配慮が特に必要
  - ← 生徒の発達の段階に対応した指導の工夫が求められる。
  - ← 小・中学校と異なり、道徳の時間が設けられていない。

(1) 高等学校における道徳教育

ア 高等学校における道徳教育の考え方

『高等学校学習指導要領解説 総則編』より

- 高等学校における道徳教育の考え方として示されているのが、  
「人間としての在り方生き方に関する教育」
- ① 公民科やホームルーム活動を中心に各教科・科目等の特質に応じ
- ② 学校の教育活動全体を通じて、
- ③ 生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう、適切な指導を行う。

### (1) 高等学校における道徳教育

イ 人間としての在り方生き方に関する教育の趣旨  
『高等学校学習指導要領解説 総則編』より

#### 【高等学校における生徒の発達の段階】

自分の人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何かということについて思い悩む時期  
自分自身や自己と他者との関係、さらには広く国家や社会について強い関心を持ち、人間や社会の在るべき姿について考えを深める時期  
それらを模索する中で、生きる主体としての自己を確立し、自らの人生観・世界観ないし価値観を形成し、主体性をもって行きたいという意欲を高めていく。  
→人間の在り方に深く根ざした人間としての生き方に関する教育

### (1) 高等学校における道徳教育

イ 人間としての在り方生き方に関する教育の趣旨  
『高等学校学習指導要領解説 総則編』より

人間は、同じような状況の下に置かれている場合でも必ずしもすべて同じ生き方をするとはいえず、同一の状況の下でも、幾つかの生き方が考えられる場合が少なくない。

→こうした考えられる幾つかの生き方の中から、一定の行為を自分自身の判断基準に基づいて選択するということが、主体的に判断し行動すること

社会の変化に対応して主体的に判断し行動しうするためには、選択可能な幾つかの生き方の中から自分にふさわしいしかもよりよい生き方を選ぶ上で必要な、自分自身に固有な選択基準ないし判断基準をもたなければならない。

→生徒一人一人が人間存在の根本性格を問うこと、すなわち人間としての在り方を問うことを通じて形成されてくる。

様々な体験や思索の機会を通して自らの考えを深めることにより形成

### (1) 高等学校における道徳教育

ウ 各教科・科目等における人間としての在り方生き方に関する教育の展開  
『高等学校学習指導要領解説 総則編』より

○ 学校の教育活動全体を通じて各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて実施する。

○ 特に公民科の「現代社会」及び「倫理」、特別活動にはそれぞれの目標に「人間としての在り方生き方」を掲げており、これらを中核的な指導の場面として重視し、道徳教育の目標全体を踏まえた指導を行う必要がある。

### (1) 高等学校における道徳教育

ウ 各教科・科目等における人間としての在り方生き方に関する教育の展開  
『高等学校学習指導要領解説 総則編』より

特に、ホームルーム活動を中心として特別活動全体を通じて、社会において自立的に生きることができるようにするため、社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方に関する指導が行われるようにすることとし、その一層の充実を図る。指導に当たっては、人間としての在り方生き方の指導がホームルーム活動を中心として、特別活動の全体を通じて行われるようにすることはもとより、その際、他の教科、特に公民科や総合的な学習の時間との関連を図ることに配慮する必要がある。(学習指導要領第5章特別活動第3の1の(4))。

## (2) 道徳教育の目標

『高等学校学習指導要領解説 総則編』(平成21年11月)より

- ア 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う
- イ 豊かな心をはぐくむ
- ウ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る人間を育成する
- エ 公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努める人間を育成する
- オ 他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する人間を育成する
- カ 未来を拓く主体性のある日本人を育成する
- キ 道徳性を養う

## (3) 道徳教育を進めるに当たっての配慮事項

『高等学校学習指導要領解説 総則編』(平成21年11月)より

- ・ 道徳的実践力を高めるよう配慮して指導することが大切である。
- ・ 本来、道徳的実践力は、内的な力としての道徳的実践力が基盤になければならない。道徳的実践力が高まることによってより確かな道徳的実践ができるのであり、そのような道徳的実践を繰り返すことによって、内なる道徳的実践力も深まるのである。……

